

豊橋市、岡崎市、春日井市、豊川市、刈谷市、
豊田市、西尾市、蒲郡市、小牧市、大府市、田原市、
北名古屋市、東郷町、蟹江町、東浦町同時

2020年3月12日（木）
愛知県政策企画局広報広聴課
広報・広聴グループ
担 当 辻・横井
内 線 2430・2431
ダイヤル 052-954-6169

令和元年度愛知県広報コンクールの入賞作品を決定しました

愛知県では、市町村の広報技術の向上を図るため、2004年度から愛知県広報コンクールを実施しています。この度、令和元年度愛知県広報コンクールを実施したところ、127点の応募があり、審査の結果、以下のとおり入賞作品（計24点）を決定しました。

なお、今回の入賞作品の中から11作品（別紙1）を、愛知県の代表作品として公益社団法人日本広報協会が主催する「令和2年全国広報コンクール」へ推薦しました。

1 入賞作品【24点】

部 門	賞	作 品 名	市町村名	
広報紙	市 部 (22)	特 選	「広報たはら」2月号	田原市
		入 選	「広報とよはし」1月号	豊橋市
			「市政だより おかざき」10月1日号	岡崎市
			「広報こまき」12月1日号	小牧市
	奨励賞	「広報にしお」3月1日号	西尾市	
	町 村 部 (4)	特 選	「まちから 広報かにえ」8月号	蟹江町
入 選		「広報ひがしうら」12月1日号	東浦町	
ウェブ サイト	市 部 (6)	特 選	豊田市ウェブサイト	豊田市
		入 選	大府市ウェブサイト	大府市
		奨励賞	豊川市ウェブサイト	豊川市
	町 村 部 (2)	奨励賞	東浦町ウェブサイト	東浦町
写 真	一枚写真 (44)	特 選	「かりや市民だより」11月15日号	刈谷市
		入 選	「かりや市民だより」8月15日号	刈谷市
		奨励賞	「広報にしお」11月1日号	西尾市
			「広報北名古屋」8月号	北名古屋市
	組み写真 (30)	特 選	「広報とよた」12月号	豊田市
		入 選	「広報おおぶ」11月1日号	大府市
		奨励賞	「広報春日井」9月1日号	春日井市
			「広報にしお」3月16日号	西尾市
映像 (13)	特 選	とうごうチャンネル 「みんなで支えみんなでつくるまち」	東郷町	
		入 選	「発見！美しき蒲郡 誕生の秘密に迫る」	蒲郡市
	奨励賞	ビデオ広報刈谷 「ともに学び、理解し合う ～刈谷市立刈谷特別支援学校～」	刈谷市	

部 門	賞	作 品 名	市町村名
広報企画 (6)	特 選	「春日井キッズ広報大使 ～身近な魅力を発見・発信～」	春日井市
	入 選	『＃たはら暮らし』を他団体とコラボ！ より多くのファンを獲得するために」	田原市

※各部門ごとに、原則として、特選を1点、入選及び奨励賞を若干点選奨する。ただし、各賞該当なしとすることもある。

※（ ）内は応募数

2 各部門の特選作品の概要・審査講評

別紙2「特選 審査講評」のとおり。

3 賞状の授与

入賞団体には、本日付けで愛知県知事名の賞状を授与します。

4 応募点数

(1) 広報紙部門	市部 22点、町村部 4点	} 全127点
(2) ウェブサイト部門	市部 6点、町村部 2点	
(3) 写真部門	一枚写真 44点、組み写真 30点	
(4) 映像部門	13点	
(5) 広報企画部門	6点	

5 令和元年度愛知県広報コンクール審査会審査員（敬称略）

中日新聞社編集局整理部デスク	おおつか なおや 大塚 尚哉
愛知県立大学情報科学部講師	かすや ひでと 粕谷 英人
中部写真記者協会事務局長	こうむら たけし 神村 武司
愛知県立芸術大学美術学部准教授	さとう なおき 佐藤 直樹
中部映像関連事業社協会	そぶえ ゆういち 祖父江 雄一
愛知県総務局情報政策課課長補佐	みのうら まさゆき 箕浦 正幸
愛知県政策企画局広報広聴課長	いとう しゅうじ 伊藤 修司

<参考>

「愛知県広報コンクール」の概要

目 的 市町村の広報技術の向上を図るため、2003年度まで愛知県広報協会（社団法人日本広報協会愛知県支部）の事業として実施されていた広報コンクール事業を、2004年度から県の事業として、毎年実施。

募集対象 県内市町村

募集項目 2019年1月から12月までに発行等を行った各種広報作品

募集期間 2019年9月3日から11月29日まで

主 催 愛知県

そ の 他 各部門の特選作品（ウェブサイト部門及び広報企画部門は受賞作品全て）を、公益社団法人日本広報協会が主催する「令和2年全国広報コンクール」に推薦。（結果は、2020年4月頃発表予定）

<特選作品>

広報紙部門（市部）
「広報たはら」2月号



広報紙部門（町村部）
「まちから 広報かにえ」8月号



写真部門（一枚写真）

「かりや市民だより」11月15日号



写真部門（組み写真）

「広報とよた」12月号



映像部門

とうごうチャンネル
「みんなで支えみんなでつくるまち」



広報企画部門

「春日井キッズ広報大使～身近な魅力を発見・発信～」



全国広報コンクールへの推薦作品

部 門		賞	作 品 名	市町村名
広報紙	市 部	特 選	「広報たはら」 2月号	田原市
	町村部	特 選	「まちから 広報かにえ」 8月号	蟹江町
ウェブ サイト	市 部	特 選	豊田市ウェブサイト	豊田市
		入 選	大府市ウェブサイト	大府市
		奨励賞	豊川市ウェブサイト	豊川市
	町村部	奨励賞	東浦町ウェブサイト	東浦町
写真	一枚写真	特 選	「かりや市民だより」 11月15日号	刈谷市
	組み写真	特 選	「広報とよた」 12月号	豊田市
映像		特 選	とうごうチャンネル 「みんなで支えみんなで作るまち」	東郷町
広報企画		特 選	「春日井キッズ広報大使 ～身近な魅力を発見・発信～」	春日井市
		入 選	「『#たはら暮らし』を他団体とコラボ！ より多くのファンを獲得するために」	田原市

※ウェブサイト部門及び広報企画部門は受賞作品全てを、それ以外の部門は特選作品のみを推薦。

(参考) 全国広報コンクールでの本県推薦作品の受賞状況 (過去3年)

年	部 門	市町村名	推薦作品	賞
31	広報紙 (町村部)	東浦町	広報ひがしうら 2018年9月1日号	入選 (2席)
30	該当なし			
29	映像	東郷町	とうごうチャンネル シティプロモーション「いこまい東郷」	入選

令和元年度
愛知県広報コンクール

特選 審査講評

〈広報紙部門（市部）〉

特 選

「広報たはら」 2月号 田原市

発行回数	判 型	平均ページ数	発行部数	1部当たり の 経 費	担当者数
12	A4	36	21,000	38.8 円	4 人

◇ 審査講評

《佐藤審査員》

近年急増しているという不妊治療について、様々な観点・視点から紹介することで読者の理解を促すとともに、市の取り組みなどにも触れた特集は、読み物としての深度があり、企画担当者の思い入れが伝わる記事に仕上がっています。現代社会が共通して直面する問題を取り上げた編集方針にも高い評価が集まりました。

《大塚審査員》

まず表紙の特集タイトル「幸せのかたち」が目を引きました。次のページにある特集を統一した見出しにも「不妊治療」という言葉はなく、直接的ではない表現で本題に導入しようと工夫したのだらうと思いました。多角的に取材して内容が充実していることはもちろん、各ページを通してベースに淡い色を使い、見出しに丸ゴシック体を採用するなど温かみを感じさせる編集も、とても素晴らしかったです。



〈広報紙部門（町村部）〉

特 選

「まちから 広報かにえ」 8月号 蟹江町

発行回数	判 型	平均ページ数	発行部数	1部当たり の 経 費	担当者数
12	A4	20	17,400	18.48 円	3 人

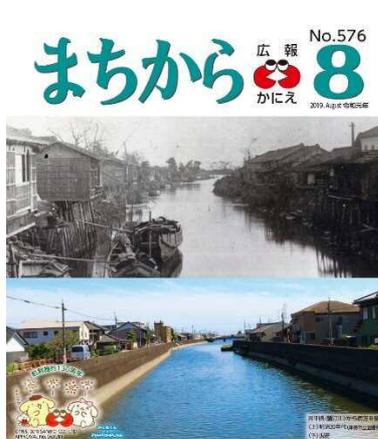
◇ 審査講評

《佐藤審査員》

蟹江町の広報紙が「まちから」として一新されたことを、大きくアピールした一連の展開を高く評価しました。通例となってきたことやお馴染みのものを「変える」ということには、相応な理由と決断、そして実行力が必要です。そこに至った強い意志と自負が紙面から感じられたことが高評価につながりました。

《大塚審査員》

広報紙を一新し、町制130周年を迎えるという中で作成した、力の入った企画であることがひしひしと伝わってきました。水郷のまちならではのテーマで、翌月号の伊勢湾台風特集とつなげる構想にも感心しました。現在と町制が始まったところの同じ地点の写真を並べ、川沿いの変貌ぶりを一目で伝えた表紙が印象的でした。町の人気キャラクターを活用して、紙面をやわらげた工夫も効果的でした。



特集 川と橋とともにあゆんで130周年

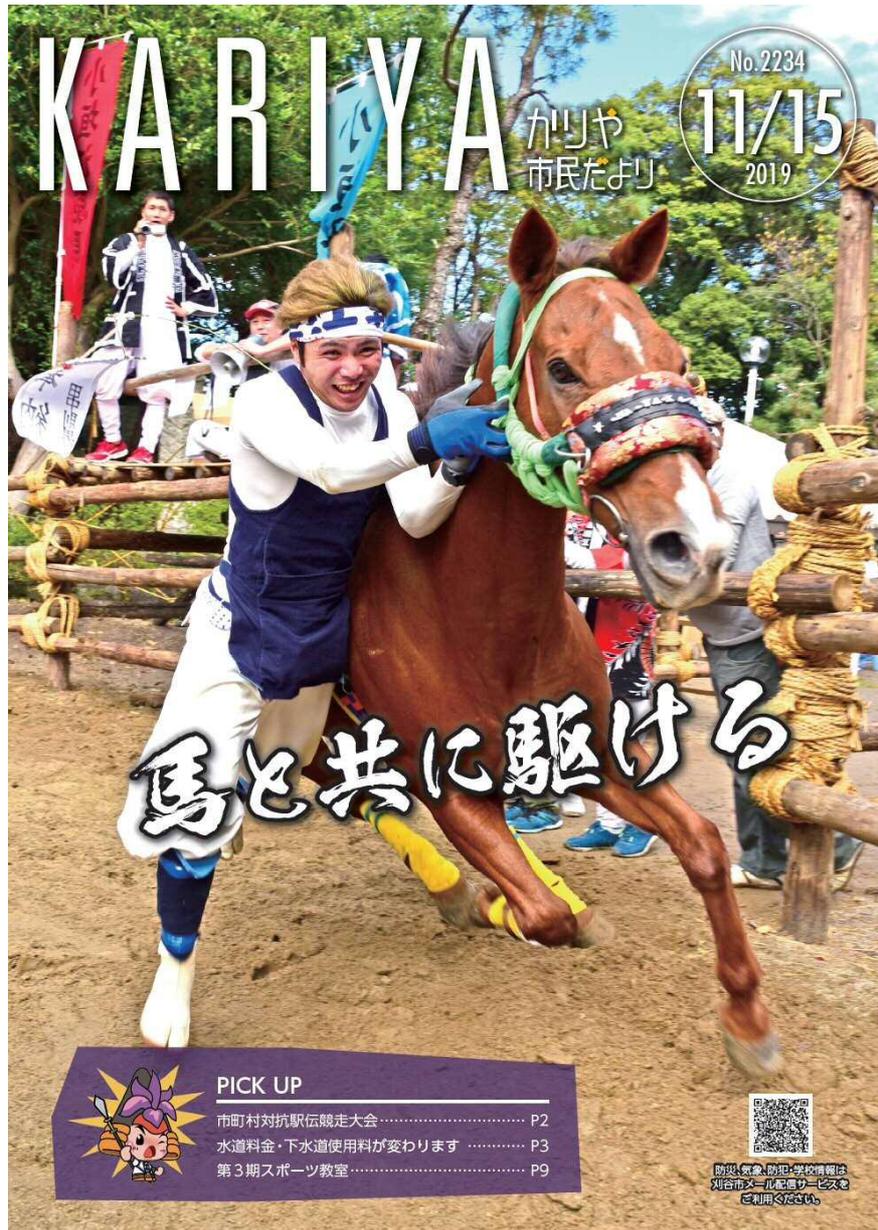
- 10 蟹江町のあゆみをたどる
沿革を解説します
- 11 川と橋の歴史をたどる
奥の歴史を振り返る
- 12 今月号は
地球防災訓練の日
- 18 Do I Kanie
- 24 TOWN TOPICS
- 28 読書総ざより



〈写真部門（一枚写真）〉

特 選

「かりや市民だより」11月15日号（表紙） 刈谷市



◇ 審査講評

人馬一体となつて駆けるおまんと 駆馬神事の勇壮なシーンを、ローアングルからワイドレンズで大胆に捉えています。前脚を蹴り上げ疾走する馬と必死に飛びつく若者の姿が見事に表現されています。狙い定めた一瞬をものにした迫力のある力強い作品です。

〈写真部門（組み写真）〉

特 選

「広報とよた」12月号（2～3ページ） 豊田市



◇ 審査講評

にわかファンをも巻き込み素晴らしい「感動」をもたらしたラグビーワールドカップ2019。開催都市・豊田の熱い盛り上がり紙面から伝わってきます。ワンチームになって精力的に取材に駆け回った制作スタッフの思いが結集した組み写真です。

〈映像部門〉

特 選

とうごうチャンネル「みんなで支えみんなで作るまち」 東郷町

収録時間	経費	年間制作本数	放映方法
10分	712,800円	6本	<ul style="list-style-type: none">・ケーブルテレビ CCNet・YouTube・TOKAI DOUGA ホームページ・町内の公共施設と医療機関待合室・図書館と未来プロジェクト課でDVDを貸出

◇ 審査講評

特選は一年振りに返り咲いた常連・東郷町です。

昨年度は僅差で東浦町に特選を譲ることになりましたが、今回は『福祉』という普遍的で切り口が難解なテーマを、持ち前の訴求力と構成・演出・技術力を駆使して製作した作品でした。

『福祉』とはこういうものです」と行政目線で滔々と説明するのではなく、障がい者や市民の活動…彼らの言葉などから伝えるという当たり前の手法が東郷町の訴求フィルターを通すところも変わるのかと。それは、きっと撮影・編集・音声といった表現技術の使い方にもあるでしょう。

暗くなりがちのテーマを明るくテンポよく。そして、視聴者の感性に訴えるために心に残る映像と端的な言葉で紡ぐ。アバンで語られる「失敗はチャンスなので前を向いて歩いて…」という言葉から「人はみんな同じで違う…」。これらの言葉からは福祉を行政から施される前に自らの意識を見直そう…と暗に訴える。そして、「彼ら(障がい者)を含めて東郷町」と締めくくる。もちろん、町の福祉施策、事業、活動も簡潔にわかりやすく紹介しています。ここに東郷町のモットーである「スタイリッシュな構成」手法の成果が表れているようです。

ただ、以前にも講評しているバス「巡回君」の擬人化による問題提起部分はどうなのでしょう？要りますか？もっともレギュラーで見ている東郷町民はこのスタイルに見慣れているのかもしれませんが…。



〈広報企画部門〉

特 選

「春日井キッズ広報大使～身近な魅力を発見・発信～」 春日井市

○ 企画の概要

平成30年度に策定した春日井市シティプロモーション戦略を推進する一環として、市内37小学校の代表児童を春日井キッズ広報大使に任命。市民対話「市長を囲んでわくわくトーク」での地域の魅力の発表など、子どもの目線で魅力を発信することで市のイメージ向上を目指すとともに、市の魅力を再確認し、さらには地域への愛着の醸成を図るもの。

生活圏が、自身の居住地を中心とする小学生だからこそ感じる魅力を発信できる。

新たな予算計上や事業の立ち上げではなく、従来から実施している事業・施策を活用。

◇ 審査講評

《佐藤審査員》

子供たちを広報大使として位置付けた企画によって、多種多様な広報効果が達成されました。まちぐるみの広報企画として秀逸であり、地元住民の一体化に貢献したのではないかと推察されます。今後は、この企画の本質と成果をアピールする報告書を丁寧に作成してください。

《大塚審査員》

広報大使を通した街づくりはよく聞きますが、大使が子どもたちという点に目新しさを感じました。子どもたちの心に郷土への思いが深く強く残ると思います。大使がさまざまな媒体に登場して情報発信していくことで、市民に広く内容を浸透させる仕組みにしたところも良かったです。今後どのような展開を見せるのか楽しみです。



【入賞市町 お問い合わせ先】

豊橋市広報広聴課	0532-51-2165
岡崎市広報課	0564-23-6033
春日井市広報広聴課	0568-85-6036
豊川市秘書課	0533-89-2121
刈谷市広報広聴課	0566-62-1001
豊田市市政発信課	0565-34-6604
西尾市秘書広報広聴課	0563-65-2159
蒲郡市秘書広報課	0533-66-1145
小牧市広報広聴課	0568-76-1101
大府市広報広聴課	0562-45-6214
田原市広報秘書課	0531-22-0138
北名古屋市人事秘書課	0568-22-1111
東郷町人事秘書課	0561-56-0715
蟹江町政策推進課	0567-95-1111
東浦町広報情報課	0562-83-3111